

国際観光フォーラム、各界の論客が登場

海外・国内・訪日旅行対象にテーマ別シンポジウム

9月25日と26日の両日、東京ビッグサイト・会議棟で「Tourism and Culture」旅と文化」をテーマに開催される国際観光フォーラムでは、海外旅行・国内旅行・訪日旅行を対象とするテーマ別シンポジウムも実施されます。それぞれの分野における最先端のツーリズム情報や手法を共有・発信する場として、大いに注目されています。

地方分散の課題を 長期的視点で

9月25

日の13時から14時30分までの90分間で開催される訪日



JNTOの
平田真幸担当部長

旅行シンポジウム(協力)日本政府観光局「JNTO」のテーマは、「インバウンド需要の地方分散と広域観光周遊ルートの形成に向けて」です。

このシンポジウムでは、JNTO海外プロモーション部の平田真幸担当部長がモデレーターを務め、田辺市熊野ツーリズムビューローの多田稔子会長、九州旅客鉄道の後藤靖子常務取締役、エクスポートジャパンの高岡謙二代表取締役、JTBグループバルマーケットینگ&トラベルの吉村久夫取締役の4氏がパネリストとして登壇し意見交換を行います。

JATAが今年4月に観光庁へ提出し

た訪日旅行政策提言でも指摘したように、年間2000万人の訪日旅行者達成が視野に入ってきたインバウンド市場において、地方分散は最重要課題の一つとなつていま

す。今回のシンポジウムでは、インバウンド需要の地方分散に向けて、具体的な取り組み事例や課題、国が進めている広域周遊観光ルート整備との連携などをめぐり、それぞれの立場から議論が深められることとなります。

モデレーターを務めるJNTOの平田部長は、「インバウンド需要の地方分散は1990年代から始まっていたが、急激に市場が拡大している最近の状況の中で、真の観光立国を目指すには、地方のブランドディングと着実なマーケティングが不可欠であり、長期的視点で地方分散の課題を整理したい」と語っています。

双方向交流の拡大で 地域活性化

海外旅行シンポジウムは、9月26日の13時から14時30分の90分間で開催されます。

このシンポジウムでは、JTBワールドバケーシヨンスの井上聡代表



KNT-CTホールディングスの
池畑孝治執行役員

取締役が、今年4月にJATA海外旅行推進委員会がまとめた海外旅行政策提言の要点を紹介した後、KNT-CTホールディングスの池畑孝治執行役員がモデレーターを務め、新潟県の泉田裕彦知事、在日米国外務省商務部の百合アン・アサー上席商務官、JTBワールドバケーシヨンスの井上代表取締役の3氏による意見交換が行われます。「ALL JAPANで双方向交流を！異文化理解が人を育て、地域を活性化させる」をテーマに掲げるシンポジウムは、地方自治体による姉妹都市提携や国際交流の先進事例を参考に、若者の国際化、地方の国際化、全国レベルでの国際交流の必要性、ALL JAPANでの取り組み意識の醸成や双方向交流を全国的に広げる際の方向性や課題などをめぐって議論が展開される予定で、池畑執行役員は「パネリストのそれぞれの立場から、様々な事例や考え方を紹介していただき、できる

だけ多くのヒントを引き出したい」考えを示しています。

地方創生における 観光振興の役割

9月26日の15時から17時まで2時間わたって開催される国内観光シンポジウムでは、観光庁

の久保茂



東洋大学の
矢ヶ崎紀子准教授

人長官による提言「観光振興が地方創生、地域経済活性化に果たす役割」に続き、ベネッセホールディングス最高顧問で公益財団法人福武財団の理事長を務める福武一郎氏、東日本旅客鉄道の清野智取取締役会長、三重県の鈴木英敬知事の3氏が、それぞれ、「文化芸術による地方創生」「鉄道事業者が地方創生に果たす役割」「地域ブランドディングと地方創生」をテーマにプレゼンテーションを行った後、東洋大学国際観光学科の矢ヶ崎紀子准教授がモデレーターを務めるパネレディスカッションが実施されます。

矢ヶ崎准教授は、「観光を通じた地方創生に向けて、地域で大きな実績を重ねている皆さんの知見や経験に基づき、ツーリズム産業が果たすべき役割や向かうべき道筋などを見極めたい」と話しています。